

平成25年度

「学生によるオレンジリボン運動」

日本福祉大学 実施報告書



実施主体 日本福祉大学オレンジリボン実行委員会

実施内容 平成25年11月16日～17日の大学祭にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

平成25年9月から7回の実行委員会を開き準備を進めた。また、愛知県、東海市、知多市、常滑市、大府市、半田市、阿久比町、東浦町、武豊町、美浜町、南知多町の後援をいただき、物的・人的支援をいただくことができた。テント前には大きな「オレンジリボンツリー」を飾り、関心を持っていただけるように心がけた。

大学からは「創立60周年事業」に位置付けていただき、多額の助成金をいただくことができた。また公式フェイスブックで逐次実行委員会報告を行った。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- (1) オレンジリボンの作成と配布(学生や市民に対して)
- (2) 児童虐待をテーマにした映画の上映(2回)とミニトークショー
- (3) 大学の近くにある児童養護施設やファミリーホームの子どもと職員を招待し、室内ゲーム、工作、ドッチボール、模擬店での買い物など楽しんでいただいた。
- (4) 児童養護施設の高校生に対し、児童養護施設出身の卒業生や現役の大学生が「体験談」を話し、高校生のエンパワーメントを図ることができた。

③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

(1) 児童養護施設、ファミリーホームの子どもたちは初めて大学祭に来る子が多く、学生と一緒に構内を回り、ゲーム等楽しむことができた。「来年もやるの」「また来たい」といった意見が寄せられた。

(2) 映画コーナーには、社会福祉等に関心がある高校生が数名参加しており、大学進学を希望したいとの反応があった。

(3) 「体験談」に参加した高校生4名から「参加して、これからの生き方の参考になった」とのお手紙をいただいた。

(4) 子ども虐待防止に関心の高い学生が学部や学年を越えて学び合い、交流することができた。

(5) 市町の行政関係者も参加していただき、この運動に協力していただくことができた。

